

自己評価公開資料(令和1年度)

- ・昨年度は過去最高の入学希望者を得て、一部学科コースでは定員を超える出願となり、複数の学科コースにおいてはクラス定員一杯の学生を獲得するに至った。特に広報面での新たな試みは用いてないが、高校生における進路のニーズをつかんだカリキュラム設定、研修内容、学費が評価に繋がったものと思われる。
- ・一方でモデル科に至っては学生数を昨年の半減数としている。
- ・令和2年度より、アパレル技能科、ファッションビジネス科については職業実践課程の認可へ向けた準備を整えた。
- ・学生の経済支援としての取り組みは遅れており、無償化制度の導入に遅れをとっている。令和2年度において申請準備を進めている。
- ・設備環境面においては
 - 1) 学生数の増加に合わせて、全教室の机と椅子を30席に増加。造形教室においては、裁断台を兼ねた作業机を一年基礎課程へ導入。
 - 2) 東レCADクリアコンポを操作PCと合わせて最新バージョンへアップグレード。
 - 3) WindowsPC全機(30台)のアップグレード。学生数の増加に合わせてMacBookAIRの台数追加購入。
 - 4) 新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、在宅授業に向けたオンライン教材機器の導入。
- ・COVI-17感染症対策による学校閉鎖を4月より行う。例年同時に行うオープンカレッジの開催に向けてオンライン授業設備を整備。結果として学校閉鎖期間におけるオンライン授業の実施が行えた。
- ・オンライン授業の開始後も積極的にオンライン機器の整備、充実を図り、今後の授業の形や広報活動への活用に広める。

1.教育理念・目標

年次定例会(職員会議)(3月)、配布資料における現状確認

評価

B

2.学校運営

教職員の確保

クラス数の増加に伴い、ファッションビジネス科職員2名の補充、教務・就職担当教職員1名を採用。

評価

A

学科コース変更

スタイリスト科モデルコースをモデル科へ変更。

評価

A

3.教育活動

各学科別シラバス履行

令和1年度においては、ほぼ全学科、全教科においてシラバス履行の達成と就学成果を得たと考える。シラバスについては前・後期に分けてその進行状況によって、学科ごとに見直しをはかり、遅れや履修不足などについては夏期休暇期間中の補習授業を用意して対応した。
ただし、後期においてはコロナ感染対策による登校自粛を始め、一部の教科についての補習期間を令和2年度8月期に延期している。

評価

C

講演講習

就職活動支援を目的としたセミナー、講演会を始め、業界を牽引する講師を招いた講演を開催。特にモデル科においては協会との連携を強化し、シーズンイベントを開催。

評価

B

校外見学

各授業ごとに必要に応じて、ブランドショップや商業施設へのリサーチ、職場見学等を授業単位で常に行っている。海外研修では米国ロサンゼルスファッションマーケット等を訪問。

評価

B

4.学修成果

就職達成率

就職意欲の向上のため、エントリーシートの作成から担任・就活担当によるサポートを行っている。ファッション業界は職種だけでなく、ブランドの系統や企業の特徴なども学生の志望と一致しなければ早期退職につながるため、学生の志望先を汲んだ上でのマッチングが必要と考えている。

評価

B

離脱率

退学理由は出席不良によるもののほかに、経済的事情や進路の変更などの学校としての対応が難しい理由のものである。

評価

B

履修達成状況

欠席日数や補習の確定した授業などについて、学生本人だけでなく、保護者に対しても連絡を取り、早めの対応を行っている。フ学生の進路変更に対応するため、転科制度を設けて既定の成績を収めた学生には学内での転科を可能にし、本人意思に添った履修達成に向けて支援している。

評価

B

学生公募成果

新宿ファッションフィールドコンペティション、デザイン画部門においてアパレル造形科学生が優勝。

評価

A

5.学生支援

就職支援

学内に専任の就職指導担当と、就職活動室を設けている。就活担当者が得た求人情報を随時公開しているほか、インターネット上の就職支援サイトの閲覧、個別の指導・相談に対応できる体制を構築。就活室は常時開放しており、学生が自主的に求人情報を収集できるようにしている。

1年次からの就職支援授業や担任による個別指導などをはじめ、職種ごとに応じたきめの細かい就職活動支援体制を整えている。学生からの要望があれば随時担任や各授業の講師が相談に乗っている。

評価

B

離脱者支援

大きな新卒採用時期や機会が過ぎた後においても、関係深い企業からの個別募集求人や紹介求人などの活動支援を続ける。卒業後も転職の相談等も含めて、旧クラス担任や就職指導担当が相談に乗る体制を整えている。産学連携先企業からの追加求人があった場合は、未就職の卒業生も紹介している。

評価

B

キャリアアップ支援

永久バックアップ支援制度により、転職再就職活動を支援。OBOGへ作品製作環境の提供と支援を行なった。

評価

B

6.教育環境

機材器機の更新

造形教室に個別裁断作業机と作業用椅子を90セット購入。個人使用用ミシン、東レCADクレアコンボ10機の購入、デザイン授業用のMacBook20機の追加、ビジネスコース向けのWindowsの教材30機を大規模導入。そのほかにおいても必要に応じて追加購入や設備の入れ替えを行なった。

評価

A

校内美化修繕

別館階段壁面の塗り替えを行い、修繕が必要な個所については調査報告を行っている。
清掃員3名にて毎日の校内清掃。長期休み期間中は、普段手の届かないところや修繕箇所をまとめて、美化・修繕につとめている。
学生が学校生活において、不自由のないよう心掛けている。

評価

A

7.学生の受け入れ募集

AO入試

面接試験を通して、本校が求める学生像「アドミッション・ポリシー」に基づいて合否を決める入試方法。
いち早くファッション業界に飛び込みたいという人たちの要望に応えるかたちで、特典として入学前に実践的な特別講座の実施、
AO面談を適切に行っている。エントリー期間:6/1～8/31、出願期間:9/1～9/30

評価

A

推薦入学

在籍中の高等学校または高等学校以上の教育機関を卒業見込みで、総合成績の評定平均が5段階評価で3.5以上の方対象。
志望動機、学校からの推薦書・調査書から総合的に判断して、適切な書類選考を行っている。特典として後期納入額から10万円を
免除(但し、前期の総合成績がクラス平均点以上かつ1科目の出席が前期授業日数の65%以上の者)
出願期間:10/1～10/31

評価

A

一般入学

高等学校卒業見込み者、高校既卒者、留学生など幅広く受け入れを行っている。(留学生は別途受入れ条件あり)
主に志望動機を重視して、適切に書類選考を行っている。
出願期間:10/1～3/31

評価

A

8.財務

資産合計

576,818,101

評価

負債合計

187,774,919

評価

売上高

282,393,494

評価

経営コスト

275,968,349

評価

9.法令等の遵守

職員就業環境

社労士によって作成された就業規則に沿って、適切な就業制度で行っている。
昇進制度や賃金制度については、給与規定により定められている。
年に数回の研究研修機会と勉強会、海外研修を実施。教員の指導力向上を図る。また企業から講師を招いての講演や、職員それぞれの知見と技能向上に各種職能団体の講習会、研修機会を義務づけサポートしている。

評価

B

10.社会貢献・地域貢献

地域文化活動

近隣の小石川中等教育学校の職業体験の受け入れを毎年行っている。

評価

C

災害支援

在学生のご家族(学費負担者)が原則「災害救助法適用地域」に在住し被災された方に対して、被害状況に応じて経済的支援を行っている。
(学費免除または減免)

評価

B

11.国際交流

海外研修

年に一度、秋に海外研修旅行を実施。(希望者のみ)洋裁の本場であるヨーロッパやアメリカで、本場のファッションやビジネスに触れることで、国内では決して行うことのできない感性を磨く効果が得られると考えている。令和1年度については米国を訪問。

評価

C

留学生受け入れ

受け入れ可能な条件を設定しており、1.日本の高等学校以上に当たる教育課程を修了している方、2.日本語能力検定試験N2級以上合格、または日本留学試験日本語科目200点以上、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上を取得した方、または同等の日本語能力があると認めた方。
出願後に当校独自の日本語試験と面談も実施しており、勉学意欲、経費支弁能力等総合的に判断し、適切な受け入れを行っている。

評価

B